

院長よりご挨拶

余寒お見舞い申し上げます。

今年には正月から大きな災厄が続き、波乱含みのスタートとなりました。まずは、令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々に心よりお悔やみを申し上げると共に、被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様に対してお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今回の地震による甚大な被害が明らかとなり、医師会でもJMA Tとして支援に行かれた先生もいらっしゃるかと伺っております。当院も感染対策のエキスパートとして職員を派遣するなどして可能な限りの支援を行っております。

さて、昨年4月に赴任いたしましたから、多くの先生方にお世話になりながら、従前と変わらない良い病診連携をさせていただいており、心より感謝申し上げます。長らく続いておりました新型コロナウイルス感染症対応も昨年5月に5類に変更になったことを契機に、当院でも通常診療への回帰を目指して努力いたしております。しかしながら、感染がなくなったわけではなく、まだまだその対応には苦慮いたしており、特に新型コロナウイルス感染症患者の確保病床廃止後の新型コロナウイルス感染患者増加にうまく対処するための診療体制について模索している最中であります。

一方、昨年来、救急体制の充実を一つの目標としてかかげ、昨年の救急患者受け入れ数は過去最高でありました。しかしながら、断らない救急体制の確立にはまだまだ程遠い現状でもあります。本年も救急体制をさらに充実させるとともに、より多くの患者さんを受け入れ、地域医療の充実に貢献すべく邁進する所存であります。先生方には引き続き本年も変わらぬお力添え、またより一層の強固な連携をよろしくお願いいたします。

病院長 西村 元延



クオリティマネジメント推進本部

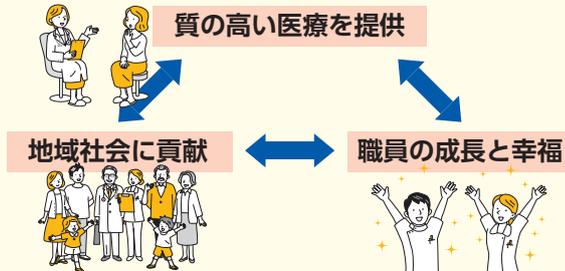


副院長、外科総括部長
クオリティマネジメント
推進本部長
谷川 隆彦

クオリティマネジメント(QM)とは質的管理のことで、産業界では古くから行われている品質管理の手法ですが、川崎病院QM推進本部は医療やサービスの質の向上を図るために、医療安全管理室と働き方改革対策室を通じていくつかの改善活動を行い、病院理念である「良質な医療を提供し、信頼される病院に」を実践していきます。

病院理念

「良質な医療を提供し、信頼される病院に」



1. 医療安全管理室

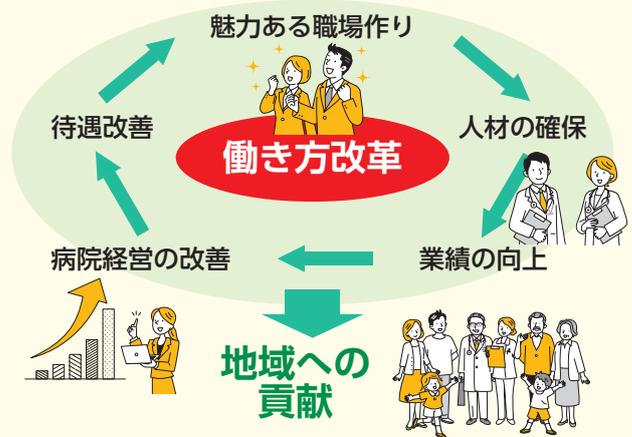
医療安全に関する組織的な取り組みを通じて、安心・安全な医療の提供を実現することを目指しています。そのためには、病院職員が患者の安全を最優先に考え、医療安全文化の醸成に寄与することが求められており、医療安全管理室は医療に内在する不可避リスクを管理し、患者の安全を最優先する価値観や行動様式を組織全体で共有するための活動を行っています。「①報告する文化」、「②正義の文化」、「③柔軟な文化」、「④学習する文化」を要素とする4つの安全文化の構成について、個人としてだけでなく組織人の一人として医療安全文化醸成に取り組み、クオリティマネジメント推進本部の掲げる安心・安全な医療の提供を実現します。

1. インシデント・アクシデント報告の収集と要因分析を行い、事象の共有を図ります。その要因をふまえて根本原因を探り、再発防止のための改善策を作成し、医療安全管理委員会や病院運営会議などで病院全体に報告、周知します。
2. 医療事故発生時には事故対応に全力を注ぐとともに事故原因の究明を行い、患者や家族に対して十分な情報提供を行います。また、有害事象に対しては、事実関係を明らかにしその対策を検討するため「事故調査委員会」を招集し、必要に応じて外部機関(日本医療安全調査機構)への報告を行い、公正・公明な対応を行います。
3. 全ての職員が積極的に医療安全を推進していくた

- め、安全管理に関する研修会を定期的で開催します。
4. 医療安全に関する知識を全職員で共有するため、医療安全管理マニュアルを作成し周知するとともに、定期的なその内容を見直し、改定を行います。
5. 毎月行われる院内パトロールを通じて、院内における医療安全に関する問題点の早期発見や改善成果の確認を行い、医療安全文化の醸成と啓蒙活動を行います。
6. 「医療安全地域連携加算1」取得施設として、地域における医療機関相互の連携を図り医療安全推進に資するため、他施設との相互訪問やカンファレンスを行います。

2. 働き方改革対策室

職員一人ひとりがより良い将来の展望を持てるよう、働き方をサポートしていきます。これまでは労働時間の短縮により職員満足度を高めることを主眼としてきましたが、これからは、職員の置かれた事情に応じた働き方を提案することで、生産性や労働意欲の向上、個人の能力の発揮が発揮できるよう、成長と分配の好循環を構築することを目指します。



3. TQM(Total Quality Management) 活動

- 医療におけるTQMとは、病院組織全体で医療・サービスの質を継続的に向上させることを目指す取り組みで、実際にはQC(Quality=品質、Control=管理)と呼ばれる手法が用いられます。
- 川崎病院ではQM推進部が主導するQCサークル活動は行っておりませんが、教育推進センターが進めている「次世代リーダー育成プログラム」によって人材育成を通じた改善活動を行っており、QM推進部はそのサポートをしています。
- 院内で「次世代リーダー育成プログラム」の活動内容を情報共有し、医療・サービスの質の改善に役立てるために、成果発表大会を行います。
- 「次世代リーダー育成プログラム」は働き方改革とも連動した病院全体で推進する教育活動であるため、労働時間内に活動することを基本としています。

臨床倫理推進チームを発足しました

このたび、倫理委員会の下部組織として、臨床倫理推進チームを発足しました。

日々のケアの中で疑問に思ったり判断に迷ったりするような、明確な答えのない問題は沢山あります。例えば、本人は食べたいと言っているけど嚥下機能が低下し経口摂取が命に関わるような時。食べるのが正解なのか、食べないようにするのが正解なのか、答えはありません。このような場合に、本人、家族、院内の多職種や在宅で関わってくださっている方々を交えて相談し、意思決定をサポートすることがチームの役割のひとつです。相談するときには臨床倫理の四分割表などのツールを用いて情報を整理し、本人にとっての最善を目指します。

ほかにも「人生会議(ACP: advance care planning)」を普及するための取り組みや、DNARに関するガイドラインの作成、院内外での臨床倫理に関する教育活動などもチームの役割です。

特にACPIは、国全体で推進されています。神戸市作成の「私のこれから」というパンフレットや兵庫区医師会作成の「私らしく生きるためのノート」をきっかけに、患者

さんとの対話を通じて、人生の最終段階に向けての準備を前もって行っていきます。

かかりつけ医の先生方とも患者さんの意思決定を共有し、地域全体で患者さんを支えることができるよう努めてまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。



臨床倫理推進チーム
在宅医療センター
センター長
松島 和樹



糖尿病連携外来について

平日は毎日予約枠を設けています

〈診療時間〉

月曜日～金曜日 14:00～15:00

予約患者さんで混み合い、十分な診察時間がとれない午前診に比べて比較的ゆったりと問診、検査、診察などを受けていただくことができます。

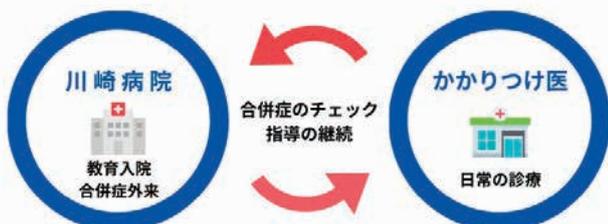
※担当医は、糖尿病内分泌内科医師による当番制です。指定はできませんのでご了承ください。

下記のような場合に連携して治療を行います。

- かかりつけ医で治療中だが、血糖コントロールが悪く、治療の見直しの必要がある
- 普段の治療はかかりつけ医で受けているが、定期的に治療の見直しや検査、栄養相談などを希望されている
- 糖尿病教育入院を希望されている
- 糖尿病合併症の見直しが必要である

糖尿病 連携外来

逆紹介後の指導や定期的な合併症チェックなどを含めた地域連携パス



糖尿病は一度入院すれば治癒するという種類の病気ではなく、継続的に管理を行っていく必要があります。また治療についても一度決められた内容をずっと継続するわけではなく、定期的な見直しが必要です。このような背景から、増加する糖尿病患者さんに対応するには病院とかかりつけの先生が連携して診療していく必要性がますます高まっています。当院には、医師をはじめ、糖尿病療養指導士の資格を持った看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士からなる「糖尿病チーム」がありますので、患者さんをトータルに支援する体制が整っています。

糖尿病連携パスについて

当院から逆紹介した約半年後に、当院を再診いただき、栄養指導や看護指導、投薬の見直しなどを行います。さらに半年経過した後に入院後1年後のチェックとして、ご希望があれば腹部エコーや動脈硬化関連の検査を行うこともできます。当院を受診する間隔は、フレキシブルに対応することができます。

ご予約に関するお問い合わせは、当院の「地域医療連携室(直通TEL078-511-3133)」にご連絡ください。



糖尿病内分泌内科
主任部長 村井 潤

お知らせ

1月に川崎病院のホームページがリニューアルしました

2024年1月に、川崎病院のホームページと、看護部ホームページをリニューアルしました。

病院ホームページのトップには、本院が大切にしている“温かさ”が伝わるように、実映像に線画を重ねるという手法を使い、手描きならではの柔らかい雰囲気を活かして本院の取り組みをアニメーションで表現しました。また、本院の特徴である診療機能を掲載した「ピックアップ」というページも設置しています。

リニューアルに伴い、ご覧いただく端末(PC・タブレット・スマートフォン)に合わせた表示ができる仕様に更新し、全体の色遣いは色の見え方が一般と異なる方にも配慮したユニバーサルデザインを採用しました。ピックアップやコラムなどの新しいコンテンツは、今後も追加を予定しています。そのほか、研修会・講演会のお知らせ、各診療科や専門特殊外来などの専門ページも更新していますので、ぜひご覧ください。今後とも、川崎病院をよろしくお願ひ致します。



こちらのQRコードを
読み取っていただき
ご覧ください。



地域医療連携室のご紹介

〈メッセージ〉

メンバー全員が一つとなって川崎病院の「顔」として毎日取り組んでいます。書類の扱いと電話対応、開業医の先生、紹介患者さんへの想いは誰にも負けません！

普段は書類でのやりとりと電話でお声をお聞きするだけですが、「地域連携の集い」などできるだけ皆さまにお会いする機会を作りたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

〈現在の取組み〉

地域医療連携室ではスムーズな対応を心がけています。最近では、受診が必要な患者さんを少しでも早く受け入れられるように、救急依頼をいただいてから最終返答までの時間を計測し、業務手順・部署内での連携・他部署との連携等のどこに問題があるのかを考察しています。この取り組みは、結果的に私たちの救急受け入れのスキルアップにも繋がると考えています。これからもできる限り開業医の先生方をお待たせしないよう改善を重ね、迅速な受け入れに努めて参ります。



後列左から、戸嶋(MSW)、山本(MSW)、
本石(事務)、飯尾(事務)
前列左から、福山(Ns)、三田(事務)、西田(Ns)、
柏原(事務)

〈地域医療連携室〉

代表電話：078-511-3131 直通電話：078-511-3133(予約専用) / FAX078-511-3297

業務時間：平日 8:30～18:30(木曜日は17:00まで)

土曜日(第1・3・5のみ) 8:30～12:40

※17:00～18:30は予約のみとなります。

※予約申込は、FAXでも可能です。

診療予約・検査予約に
関するページはこちらの
QRコードから
ご覧いただけます。

